

【第1回】五福谷地区遊砂地整備に係るワークショップ 開催結果報告

- 令和3年11月8日（月）丸森まちづくりセンターにおいて、「五福谷地区遊砂地整備に係るワークショップ」を宮城南部復興事務所の主催により行いました。
- このワークショップは、今後整備予定の五福谷川遊砂地において、主に平常時の利活用や維持管理を主眼に、住民代表者からご意見を伺い、地域と一体となった魅力ある遊砂地の整備を目指すことを目的としたものです。
- 今回、第1回目となるワークショップでは、「遊砂地でしたいこと、あると良いものについて」をテーマに、参加者からは活発な意見交換が行われました。

＜第1回ワークショップ参加メンバー＞

・住民代表者：民生委員等 6名 ・ファシリテーター：日本工営（株） ・アドバイザー：東北大 柴山准教授 ・オブザーバー：宮城県

【ワークショップの開催計画】

＜第1回＞

- ・令和3年11月8日（月）
- ・テーマ：
遊砂地でしたいこと、あると良いものについて



＜第2回＞

- ・令和3年12月中
- ・テーマ：
現地視察、第1回の振り返りととりまとめ方針整理について



＜第3回＞

- ・令和3年2月中
- ・テーマ：
提言書に向けた最終確認について



＜提言書の策定＞
丸森町へ提言書を手交

第1回テーマ：遊砂地でしたいこと、あると良いものについて

参加された皆さまからいただいた主なご意見

凡例 ■ 提案やアイデア等 ■ 心配なことや懸念事項等

■ 防災について ■ 観光振興について ■ 地域の憩いについて

遊砂地としての効果を最大限発揮できるようにしてほしい

地域のシンボルとして桜やモミジなどを植樹するのきれいだと思う

グラウンドゴルフ場や東屋、遊歩道などがあると良い

たまった土砂の撤去など維持管理をしっかりしてほしい

天皇陛下行幸の地として記念碑を設置してはどうか

子供の遊び場所が欲しい

防災教育の拠点となると良い

防災と観光の両立

駐車場などができるとごみや騒音が問題となるのではないかと

多世代の憩いの場所となるとよい

地域防災力の向上に取り組みたい

対岸の神社に行きにくくなるのが不安



▲ワークショップの様子（写真1）

東北大学・柴山准教授の講評

- 防災観光という考え方は非常にいい意見だと思う。
- 維持管理や集客についてはより議論が必要である。
- 遊砂地内にかつて集落があったことを示す石碑を設置してはどうか。
- 次回以降も積極的にご意見をいただければと思う。



東北大学
災害科学国際研究所
柴山明寛 准教授
（写真2）

<参考資料> 五福谷川遊砂地のイメージ図

※イメージ図の内容は設計の進捗に応じて変更となります。

